

「阪神間モダニズム建築探訪メモ」

2017.12.18

企画委員会

1. 行程

JR 甲子園口駅(10:00)～徒歩(10 分)～武庫川女子大学甲子園会館(10:30～12:00)～JR 甲子園口駅(12:15)～JR さくら夙川駅～昼食(JR さくら夙川駅～阪急夙川駅の間で食道 or 弁当)～徒歩(15 分)～阪急夙川駅南改札前集合～カトリック夙川教会集合(13:20)～カトリック夙川教会(13:30～14:30)～カトリック夙川教会にて解散(14:30)(最寄駅)阪急夙川駅または JR 桜夙川駅

2. 見所概要

1) 武庫川女子大学甲子園会館

甲子園会館は、旧甲子園ホテル(昭和 5 年竣工)を、昭和40年武庫川学院が譲り受け教育施設として再生したものである。

中央に玄関・フロント・メインロビーを置き、左右に大きく食堂と宴会場とを張り出し、その両翼の上階に独立性を保ちながら集約された客室群を階段状に配したライト式建築。設計はフランク・ロイド・ライト(米:1867～1959)の愛弟子、遠藤新(1889～1951)が手がけた。当時、帝国ホテルのマネージャーで、ホテル界の第一人者と言われた林愛作(1873～1951)の理想に基づいて計画されたもので、「東の帝国ホテル(明治村で建物の一部を保存)、西の甲子園ホテル」と並び称せられ、皇族、政財界人、上級軍人等の社交場としてにぎわった。

日本に残る数少ないライト建築、さらに打出の小槌を主題にしたオーナメントや緑釉瓦、西ホールの光天井の障子などにみられるように、日本の伝統美を生かした洋式建築は、今も名高く、建築の専門誌や新聞等で紹介されることが多い。

2) カトリック夙川教会

1921 年(大正 10 年)パリ宣教教会のブスケ神父は、札場筋と旧国道との交差点にあった清友クラブを借りて阪神間における初めてのカトリック教会を開きました。2 年後現在地に土地を購入、神戸居留地にあった「悲しみの聖母教会」の旧建屋を移設して仮聖堂として、本格的な聖堂の建設に取り組み始めました。

1932 年(昭和 7 年)4 月ヨゼフ梅木省三の設計によるネオゴシック様式の聖堂が完成しました。新聖堂はブスケ神父が敬愛してやまなかった聖テレジアに献げられ、以後夙川教会は「幼きイエズスの夙川教会」呼ばれています。

1995 年の 1 月 17 日の阪神大震災では大きな被害を受けましたが、幸いにも倒壊は免れ、2012 年に耐震・改修工事が完了し、10 月 21 日創立 90 周年記念ミサがとり行われました。

聖堂および鐘楼の歴史的、文化的な価値が評価され、2009 年 6 月に「西宮市都市景観形成建築物」2012 年 3 月に「兵庫県景観形成重要建造物」に指定されました。昔も今も夙川のシンボルとして壮麗な外観とともに、美しいステンドグラスや鐘の音が人々の心の安らぎと祈りの場を提供しています。

阪神間モダニズム建築探訪

(見所概要)

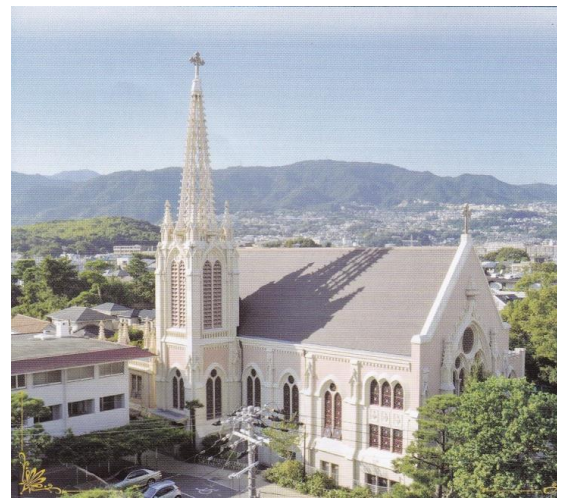
・**カトリック夙川教会**：1932年(昭和7年)4月ヨゼフ梅木省三の設計によるネオゴシック様式の聖堂が完成しました。ブスケ神父が敬愛してやまなかった聖テレジアに献げられ、以後夙川協会は「幼きイエズスの夙川協会」と呼ばれている。2012年3月に「兵庫県景観形成重要建造物」に指定されました。昔も今も夙川のシンボルとして壮麗な外観とともに、美しいステンドグラスや鐘の音が人々の心の安らぎと祈りの場を提供しています。

・**武庫川女子大学甲子園会館**：甲子園会館は、旧甲子園ホテル(昭和5年竣工)を、昭和40年武庫川学院が譲り受け教育施設として再生したものです。設計はフランク・ロイド・ライト(米：1867～1959)の愛弟子遠藤新(1889～1951年)が手がけた。当時帝国ホテルのマネージャーで、ホテル界の第一人者と言われた林愛作(1873～1951)の理想に基づいて計画されたもので「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテルと並び称せられ、皇族、政財界人、上級軍人等の社交場としてにぎわった。日本に残る数少ないライト建築で、日本の伝統美を生かした様式建築は、今も名高く建築の専門誌や新聞などで紹介されることが多い。

幼きイエズスの聖テレジア



夙川カトリック教会



入口から見た甲子園会館



打出の小槌のオーナメント



会館入口のクスノキの大木



2017年12月18日

「阪神間モダニズム建築探訪(Aコース用)」案内状

自然と文化科 企画委員会

今回は阪神間モダニズム建築に位置づけられる施設を探訪します。阪神間モダニズムとは明治時代の大阪帝塚山地区開発をモデルとして形成され、1900年代から六甲山系と海に囲まれた地域で育まれた芸術・文化・生活様式全般を指します。数多くある施設のうち僅か2か所の探訪ではありますが、その一端に触れることができる機会となりますように。

(注) 午前の探訪は(A、B)の2地点に分れて探訪先も異なりますが午後は合流します。

Aコース(60人)は武庫川女子大学甲子園会館、Bコース(A以外)は西宮神社

以下はAコース案内書です。(Bコース案内書は別紙をご覧ください。)

1)開催日時 平成30年1月12日(金) 10:30~14:30

(注意)雨天決行です。十分な寒さ対策を。

2)集合場所 JR甲子園口駅南改札口 10:00 集合 (各駅のみ停車!)

(参考)JR神戸線 (梅田発 9:31~9:44、三ノ宮 9:21~9:38)

3)探訪行程

①(午前)武庫川女子大学甲子園会館(旧称:甲子園ホテル)

見学時間(10:30~12:00)、0798-67-0290

ガイド:武庫川女子大学ガイド、2グループ編成(1.2班+3.4班)

②(移動) 武庫川女子大(12:00)~徒歩10分~JR甲子園口駅~電車5分~JRさくら夙川駅~徒歩15分(※昼食:弁当 OR 食堂)~午後の集合場所(阪急夙川駅南改札口 13:20)~徒歩5分~夙川カトリック教会着(13:25)

※昼食 昼食は甲子園会館見学終了後、(JR甲子園口駅、JRさくら夙川駅、阪急夙川駅)付近の飲食店を利用。Cf(駅順でガスト、夢庵、グリーンタウン etc)
弁当持参者は夙川河川敷緑地(夙川公民館横)を利用(但し雨天時は問題)

③(午後)夙川カトリック教会(0798-221649)

見学時間(13:30~14:30)、ガイド:カトリック協会ガイド

夙川カトリック教会

④解散 14:30頃:カトリック夙川教会にて自由解散

4)費用 入場料・ガイド費用:なし。

5)その他

- ・持ち物: 寒さ対策、雨具、飲み物、カメラ他
- ・探訪メモ: 別紙参照

以 上



旧甲子園ホテル



□アクセス

○武庫川女子大学甲子園会館(JR 甲子園口駅下車)



○夙川カトリック教会(阪急夙川駅近辺)



2017年12月18日

「阪神間モダニズム建築探訪(Bコース用)」案内状

自然と文化科 企画委員会

今回は阪神間モダニズム建築に位置づけられる施設を探訪します。阪神間モダニズムとは明治時代の大阪帝塚山地区開発をモデルとして形成され、1900年代から六甲山系と海に囲まれた地域で育まれた芸術・文化・生活様式全般を指します。数多くある施設のうち僅か2か所の探訪ではありますが、その一端に触れることができる機会となりますように。

(注)午前の探訪は(A、B)の2地点に分れて探訪先も異なりますが午後は合流します。

Aコース(60人)は武庫川女子大学甲子園会館、Bコース(A以外)は西宮神社

以下はBコースの案内書です。(Aコース案内書は別紙をご覧ください。)

1)開催日時 平成30年1月12日(金) 10:00～14:30

(注意)雨天決行です。十分な寒さ対策を。

2)集合場所 阪神西宮駅南改札口 10:00 集合

(参考)阪神電車 (梅田 9:26～9:44、三ノ宮 9:32～9:47)



西宮神社

3)探訪行程

①(午前)西宮神社開運参拝(西宮えびす神社)

見学時間(10:10～11:30)、

ガイド:藤川リーダー

②(移動) 西宮神社(11:30)～徒歩10分～阪神西宮駅～電車5分～阪神香炉園駅
～徒歩15分(※昼食:弁当OR食堂)～午後の集合場所(阪急夙川駅南改札口
13:20)～徒歩5分～夙川カトリック教会着(13:25)

※昼食 昼食は西宮神社参拝終了後、(阪神西宮駅、阪神香炉園駅、阪急夙川駅)
付近の飲食店を利用。

弁当持参者は夙川河川敷緑地(夙川公民館横)を利用(但し雨天時は問題)

③(午後)夙川カトリック教会(0798-221649)

見学時間(13:30～14:30)、ガイド:カトリック協会ガイド

夙川カトリック教会

④解散 14:30頃:カトリック夙川教会にて自由解散

4)費用 入場料・ガイド費用: なし。

5)その他

・持ち物: 寒さ対策、雨具、飲み物、カメラ他

・探訪メモ: 別紙参照



以 上

☐ アクセス

○西宮神社(阪神電車西宮駅下車)



○夙川カトリック教会(阪急夙川駅近辺)

